

レース報告書

2026 SUPER GT 第4戦

富士スピードウェイ

8月1日（土）予選 天候：曇 （観客動員数：22,300人）

8月2日（日）決勝 天候：雨/曇 （観客動員数：34,100人）

予選結果

Q1：5位

Q2：7位

予選レポート

5月のゴールデンウィークに行なわれた第2戦から約3ヵ月。中東情勢の影響によりマレーシア大会が中止となったことで、シーズンとしては異例の長いインターバルとなったが、待ちに待った第4戦は富士スピードウェイで開催される。

予選日は朝から強い日差しに照らされ、厳しい暑さとなった。公式練習を終え、GT500クラスの公式予選Q1では大草りきがアタックを担当。大草はアタックをうまくまとめ、5番手タイムをマークしてQ2進出を決めた。続くQ2ではイゴール・オオムラ・フラガがアタックを担当し、結果は7番手タイムとなった。

コメント

代表：中嶋 悟

「3ヵ月ぶりの予選は7位でした。暑いなか、みんなで頑張った結果だと思います。明日もいいレースになるよう祈りながら、準備を進めます」

監督：伊沢 拓也

「約 3 か月ぶりの SUPER GT となりましたが、前戦終了後からたくさんのテストを重ね、良くなかった点をしっかり振り返った上で、クルマのセットアップやタイヤ選択を進めて今回のレースに臨みました。今日は、これまでと違うパターンで臨み、イゴール選手が Q2 を走ることを前提にフリープラクティスからスケジュールを組みました。その中で、イゴール選手は Q2 を担当する難しさをあらためて感じたのではないかと思います。明日はポイント獲得にとどまらず、上位フィニッシュを目指してチーム一丸で戦いたいと思います」

大草 りき

「今回持ち込んだタイヤはこれまでとは違うタイプだったので、そのタイヤがどのように機能するかや、実際のコンディションとのマッチングについては、走り出すまでは分からないところがありました。公式練習で走ってみたところ、ロングランペースについては意外と悪くない感触を得られました。一方でショートランには課題を感じたため、予選に向けては思い切ってセットアップを大きく変更して臨みました。結果的にそれが良い方向に働いてくれて、僕たちとしては持っている力を出し切れた予選になったと思います。明日の決勝も、この良い流れをつなげて、しっかりとレースを進めていきたいと思います」

イゴール・オオムラ・フラガ

「アタック自体はそこまで悪くなかったと思うのですが、タイヤのピークを引き出すタイミングが少しずれてしまい、セクター3 が思ったより伸びなかった印象です。セクター1 と 2 の手ごたえは結構あったので、そのあたりのバランスをきちんとすることは非常に難易度が高いと思いました。第 2 戦の富士大会では、予選だけ急にうまく行ったような感じだったのですが、今回はフリープラクティスからまずまずの手ごたえがある中でこの予選結果なので、明日の決勝もしっかり戦っていきたいです」

決勝結果



Modulo

EPSON

KENWOOD

AST

FANATEC

MOHMEI



PIAA



Savannah & Casa



リタイア

決勝レポート

決勝日も富士スピードウェイは引き続き猛暑に見舞われた。午後になると雨が落ち始め、一度は止んだものの、レーススタート前のグリッドウォーク中にも大粒の雨がコースを濡らす。スタート時刻が近づくにつれて空は再び明るくなり、雨はあがったものの、タイヤ選択に迷う難しいコンディションとなる。そのなかで、GT500 クラスは全車スリックタイヤを選択してスタートを迎える。

スタートドライバーのフラガは、セーフティカー先導で4周を走行したあと、5周目に実質のレーススタートを切った。しかし、フラガはタイヤのウォームアップに苦労していたこともあり、後続車の妨げにならないラインを走っていたところ、突然大きな衝撃を受けてマシンが宙を舞うクラッシュに見舞われ、リタイアとなった。なお、このクラッシュは、後続の2台が絡む多重クラッシュによるもので、後方のマシンには、セーフティカー導入中に他車へ接触した行為に対してペナルティが科された。

コメント

代表：中嶋 悟

「大きなクラッシュとなりましたが、ドライバーが無事であったことにまずはほっとしています。マシンの損傷は大きく、次戦まであまり日数がありませんが、懸命に修復を進めて、また皆さんの前で良いレースをお見せできるようチーム一丸となって頑張っていきます。今回もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「スタート進行中に雨が降ってきましたが、降り続けることはないだろうという予測のもと、全車がスリックタイヤでスタートしました。そこで、うまく加速できなかった

うちのクルマの後ろで2台が交錯し、そのうちの1台がうちと接触し、最終的に大きなクラッシュになりました。今のところ、ドライバーは無線を聞く限り大丈夫そうだと聞いています。良いレースができる機会があっただけに悔しい思いはありますが、まずは次のレースまでにしっかりとクルマを直し、そこに向かっていくことに気持ちを切り替えていかなければと思います。鈴鹿に向けてテストでいいタイムも出せているので、今回の分も含めて鈴鹿で取り返しに行きたいと思っています」

大草 りき

「まだ映像を見ることができていないので何も分かりませんが、うちのウォームアップがあまり良くなかったこともあるのですが、少し出遅れたところで他車との交錯があり、接触からスピンしてしまったようです。着地の状況も見えていないのですが、おそらくマシンのダメージは大きいと思います。調子が良かっただけに悔しいですし、次戦に向けてやらないといけないことはたくさんありますが、手ごたえを感じられたのは事実なので、またしっかりと準備をしていきたいと思っています」

イゴール・オオムラ・フラガ（レース翌日のコメント）

「昨日のレースで大きなクラッシュがあり、多くの方にご心配をおかけしました。昨日から今日にかけて病院で詳しい検査を受けましたが、大きな異常はなく、本日無事に退院することができました。たくさんの温かいメッセージをいただき、本当にありがとうございました。今回の事故では、マシンの安全性やメディカルスタッフ、オフィシャルの迅速な対応のおかげで、大事に至らずに済みました。あらためて関係者の皆様に心より感謝しています。振り返ると、もしクルマが飛んでいく位置や角度が少しでも違っていたら、結果はまったく違っていた可能性があります。だからこそ、『今回は大丈夫だった』で終わらせるのではなく、この経験を今後の安全性向上につなげていくことが大切だと強く感じました。モータースポーツに関わるすべての人が、安心して楽しめる環境を築いていくためにも、安全対策にはまだ改善できる点があると思っています。今回の事故が、さらなる安全性向上につながるきっかけとなることを心から願っています」

※次戦は8月22日・23日に鈴鹿サーキットで開催されます。



Modulo

EPSON

KENWOOD



FANATEC

MOHMEI



PIAA



GT500 QUALIFYING OFFICIAL RESULT

2026 / 8 / 1 17:10

FUJISPEEDWAY

Fuji Speedway(4,563m)

Weather: Cloudy
Track: Dry

Pos.	No	Car/Team	DriverName	Q2Time	Lap	Q1Time	Lap
1	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT Team HRC ARTA MUGEN	Kakunoshin Ohta Hiroki Otsu	1'26.776	4/5	1'27.580	5/5
2	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT STANLEY TEAM KUNIMITSU	Naoki Yamamoto Tadasuke Makino	1'27.078	4/5	1'27.447	4/5
3	17	Astemo HRC PRELUDE-GT Astemo REAL RACING	Koudai Tsukakoshi Yuto Nomura	1'27.325	5/5	1'27.420	5/5
4	38	KeePer CERUMO GR Supra TGR TEAM KeePer CERUMO	Toshiki Oyu Rikuto Kobayashi	1'27.502	5/5	1'28.166	6/6
5	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT ARTA MUGEN	Tomoki Nojiri Ren Sato	1'27.701	4/5	1'28.110	5/5
6	37	Deloitte TOM'S GR Supra TGR TEAM Deloitte TOM'S	Ukyo Sasahara Giuliano Alesi	1'27.818	5/6	1'27.764	5/6
7	64	Modulo HRC PRELUDE-GT Modulo Nakajima Racing	Riki Okusa Igor Omura Fraga	1'27.944	5/7	1'27.909	5/6
8	23	MOTUL Niterra Z NISMO	Katsumasa Chiyo Mitsunori Takaboshi	1'27.951	5/5	1'28.013	5/5
9	12	TRS IMPUL with SDG Z TEAM IMPUL	Kazuki Hiramine Bertrand Baguette	1'27.986	5/5	1'28.144	5/5
10	14	ENEOS X PRIME GR Supra TGR TEAM ENEOS ROOKIE	Nirei Fukuzumi Kazuya Oshima	1'28.009	5/6	1'28.040	5/5
以上Q2により決定							
11	36	au TOM'S GR Supra TGR TEAM au TOM'S	Sho Tsuboi Kenta Yamashita			1'28.355	6/6
12	19	WedsSport BANDO H GR Supra TGR TEAM WedsSport BANDO H	Yuji Kunimoto Sena Sakaguchi			1'28.362	5/5
13	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra TGR TEAM SARD	Yuhi Sekiguchi Sacha Fenestraz			1'28.380	5/5
14	24	REALIZE CORPORATION Z KONDO RACING	Teppei Natori Atsushi Miyake			1'28.717	6/6

Q1:Start Time:14:53'00 Finish Time:15:03'00 Q2:Start Time:15:31'00 Finish Time:15:41'00

Chief Timekeeper:Manabu Kadogami

Clerk of the Course:Sunao Matsuoka

Chief Steward:Masao Mizuno

門上 学

松岡 直生

水野 雅男

Series Title Sponsor

Series Partner

Series Sponsor



GT500 OFFICIAL

2026 / 8 / 2 / 8:00

FUJI SPEEDWAY

RESULT

Weather : Rain/Cloudy
Track : Wet/Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Car	Lap	Total Time	Diff.	Gap	Driver 1	Lap	Time	Driver 2	Lap	Time
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	66	2:23'36.345			Naoki Yamamoto	25	1'29.842	Tadasuke Makino	41	1'30.946
2	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	66	2:23'37.007	0.662	0.662	Kakunoshin Ohta	42	1'31.275	Hiroki Otsu	24	1'30.130
3	37	Deloitte TOM'S GR Supra	66	2:23'37.823	1.478	0.816	Ukyo Sasahara	29	1'30.700	Giuliano Alesi	37	1'30.824
4	36	au TOM'S GR Supra	66	2:23'52.246	15.901	14.423	Sho Tsuboi	38	1'30.785	Kenta Yamashita	28	1'30.818
5	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	66	2:23'57.527	21.182	5.281	Koudai Tsukakoshi	43	1'30.776	Yuto Nomura	23	1'30.207
6	38	KeePer CERUMO GR Supra	66	2:23'57.863	21.518	0.336	Toshiki Oyu	44	1'30.975	Rikuto Kobayashi	22	1'30.314
7	14	ENEOS X PRIME GR Supra	66	2:23'59.511	23.166	1.648	Nirei Fukuzumi	38	1'30.895	Kazuya Oshima	28	1'31.003
8	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	66	2:24'00.716	24.371	1.205	Yuhi Sekiguchi	32	1'30.910	Sacha Fenestraz	34	1'31.242
9	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	66	2:24'05.584	29.239	4.868	Tomoki Nojiri	22	1'30.849	Ren Sato	44	1'31.122
10	19	WedsSport BANDO H GR Supra	66	2:24'09.394	33.049	3.810	Yuji Kunimoto	22	1'31.298	Sena Sakaguchi	44	1'30.882
11	24	REALIZE CORPORATION Z	66	2:24'18.457	42.112	9.063	Teppei Natori	37	1'31.255	Atsushi Miyake	29	1'30.610
*1	12	TRS IMPUL with SDG Z	65	2:24'44.562	1Lap	1Lap	Kazuki Hiramine	26	1'30.999	Bertrand Baguette	39	1'30.342
***** 以上完走 (規定周回数 GT500 : 46Laps) *****												
23		MOTUL Nittera Z	16	1:46'27.946	50Laps	49Laps	Katsumasa Chiyo			Mitsunori Takaboshi	16	1'31.418
64		Modulo HRC PRELUDE-GT	4	10'56.426	62Laps	12Laps	Riki Okusa			Igor Omura Fraga	4	2'31.432

Fastest Lap
1'29.842 (10 / 66) 182.841 km/h 100 Naoki Yamamoto STANLEY TEAM KUNIMITSU / STANLEY HRC PRELUDE-GT

Start Time :13:30'00 Finish Time :15:53'36.345
Entry :14 Start :14 Finish :12

SC START~13:40'52(4Lap)
RED FLAG(13:41'08~14:15'00)
SC 14:15'00(4Lap)~14:25'10(9Lap)

*1 CarNo.12 Bertrand Baguette 罰金200,000円・ペナルティストップ90秒(SpR.13-1.a.「SC導入中の他車への衝突行為」)(14:08)
CarNo.12 Bertrand Baguette ドライブスルーペナルティ(SpR.付則-3 7.「SCリスタート時の追い越し」)(14:16)

Chief Time Keeper 門上 学

Clerk of the Course 橋本 早希

Chief Steward 水野 雅男

Timing and Results by SEIKO